

岩手県高等学校文化連盟放送専門部

2022(令和 4)年度 理事総会(第 1 回理事会)

2022(令和 4)年 4 月 15 日(金) 15:00~17:00

岩手県立盛岡第三高等学校 会議室

次第

開会		
専門部長挨拶		
自己紹介		
議長選出		
協議	1	2021(令和 3)年度事業報告ならびに決算報告
	(1)	2021(令和 3)年度役員 2
	(2)	事業報告 3
	(3)	決算報告
	ア	一般会計 6
	イ	事業費会計① NHK 杯県大会 7
	ウ	事業費会計② 新人大会 8
	エ	事業費会計③ 講習会 9
	2	2022(令和 4)年度役員(改選期) 10
	3	2022(令和 4)年度事業計画ならびに予算
	(1)	事業計画 12
	(2)	予算
	ア	一般会計 18
	イ	事業費会計① NHK 杯県大会 19
	ウ	事業費会計② 新人大会 20
	エ	事業費会計③ 講習会 21
	4	NHK 杯県大会要項(6 月 6 日・7 日開催) 22
	5	アナウンス朗読講習会要項(6 月下旬開催) 22
	6	放送講習会要項(9 月 18 日開催) 22
	7	その他 22
連絡	1	2023(令和 5)年度以降の予定 23
	2	放送専門部の連絡方法 24
	3	その他 25
閉会		
資料		岩手県高等学校文化連盟放送専門部規約 26
		2021(令和 3)年度高文連紀要・大会結果 別冊

<http://www2.iwate-ed.jp/housou/2022/bod20220415.pdf>

協議 1 2021(令和3)年度事業報告ならびに決算報告

(1) 2021(令和3)年度役員 (理事校 25校, 報告事項)

専門部長	岩手県立金ヶ崎高等学校長	宮学	
副専門部長	岩手県立盛岡第二高等学校長	小原貴人	
副専門部長	岩手県立盛岡第三高等学校長	木村克則	
専門部代表理事	岩手県立盛岡第二高等学校	菊地達哉	(事務局長・上位大会担当 [※])
専門部理事			
岩手県立盛岡第一高等学校	細川純平		2032～33年度事務局校
岩手県立盛岡第二高等学校	松尾洋平・大野浄美		事務局校
岩手県立盛岡第三高等学校	高橋篤志	(監事)	2022～23年度事務局校
岩手県立盛岡第四高等学校	徳田卓仁		2038～39年度事務局校
岩手県立盛岡北高等学校	千葉雅彦		2036～37年度事務局校
岩手県立盛岡南高等学校	風張沙樹		2024～25年度事務局校
岩手県立不来方高等学校	金子剛		2026～27年度事務局校
岩手県立杜陵高等学校定時制	小野寺裕子		
岩手県立杜陵高等学校通信制	曾我範晃		
岩手県立盛岡工業高等学校	小野寺真由美		2028～29年度事務局校
岩手県立盛岡商業高等学校	谷崎勝広		2030～31年度事務局校
岩手県立紫波総合高等学校	鈴木勇二	(盛岡支部理事)	
盛岡市立高等学校	山崎治子		2034～35年度事務局校
岩手中・高等学校	大沢田真也		2040～41年度事務局校
盛岡白百合学園中学高等学校	遠山恵美	(監事)	前事務局校
岩手県立花巻北高等学校	小田諭		
岩手県立花巻農業高等学校	濱谷伸広	(花巻支部理事・NHK杯運営委員)	
岩手県立黒沢尻北高等学校	高橋知己	(北上支部理事)	
岩手県立岩谷堂高等学校	山平清人	(奥州支部理事)	
岩手県立一関工業高等学校	佐々木亜紀子	(一関支部理事)	
岩手県立大船渡高等学校	菊田光哉	(気仙支部理事)	
			(釜石支部理事は空席)
岩手県立宮古高等学校	菊地奈樹	(宮古支部理事)	
岩手県立宮古商工高等学校	和山真也		
岩手県立久慈高等学校	大釜由紀	(久慈支部理事)	
岩手県立福岡高等学校	佐藤翔太	(二戸支部理事)	

([※] NHK杯運営部, 高文連全国放送専門部理事, 東北地区高文連放送部会理事, 東北アナ朗事務局)

(2) 事業報告 (2021(令和3)年度第2回理事会で2月まで報告済)

月	日	曜	事業名 (太字は生徒参加の事業)	会場	主催者 (太字は主催)
4	16	金	理事総会・第1回理事会	盛岡第二高校	放送専門部
6	7 8	月 火	第44回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第68回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会 (18校・223名・152エントリー)	ウェブ上	放送専門部・NHK
6	19	土	セミナーサポート事業①アナウンス朗読講習会 (9校・21名)	オンライン	放送専門部
6	28 29	月 火	第21回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト	中止	東北高文連 主管事業
7	10	土	第68回NHK杯全国高校放送コンテスト準々決勝	ウェブ上	全放連・NHK
7	26 29	月 木	第68回NHK杯全国高校放送コンテスト準決勝・決勝 (13校・54名・23エントリー)	ウェブ上・決勝は片柳ア リーナからオンライン	全放連・NHK
8	3	火	高文連全国放送専門部理事会	かつらぎ町地域福祉セン ター	全国高文連
8	4 5	水 木	第45回全国高等学校総合文化祭(和歌山大会)放送部門 (7校・16名・9エントリー)	かつらぎ総合文化会館あじ さいホール	全国高文連
9	10	金	第2回理事会	盛岡第二高校	放送専門部
9	15	水	東北地区高等学校文化連盟放送部会理事会	オンライン	東北高文連
9	19	日	セミナーサポート事業②放送講習会 (11校・84名)	オンライン	放送専門部
10	1	金	第44回岩手県高等学校総合文化祭総合開会式	中止(釜石市民ホール・ 釜石高校主管)	県高文連 (盛岡支部主管)
10	6	水	セミナーサポート事業③メディアコミュニケーションセミナー (16校・141名)	県民会館他	放送専門部
11	8 9	月 火	第44回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第39回岩手県高等学校放送新人大会 (17校・158名・120エントリー)	県民会館	放送専門部
11	22	月	セミナーサポート事業④番組講習会 (8校・42名)	県民会館	放送専門部
11	25	木	第16回高校生交通安全テレビCMコンテスト (8校・15エントリー)	県庁	岩手県
12	25	土	セミナーサポート事業⑤アナウンス朗読講習会 (7校・21名)	県民会館	放送専門部
12	27 28	月 火	第44回校内放送指導者講座 (9名・累計45名)	千代田放送会館(東京)	全放連・NHK
2	11 13	金 日	第25回東北高等学校放送コンテスト (9校・76名・24エントリー)	ウェブ上	東北高文連
2	18	金	第3回理事会・会計監査	盛岡第二高校	放送専門部
3	26	土	番組講習会	リモート	盛岡支部
3	26	土	NHK杯全国高校放送コンテスト担当者会議	オンライン	全放連・NHK

ア 大会事業

県大会はいずれも第44回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会として開催。全結果は放送専門部のウェブサイト参照。

① 第68回岩手県高校放送コンテスト 6月7日(月)-8日(火) ウェブ上で開催

② 第39回岩手県高等学校放送新人大会 11月9日(火) 県民会館

- ・東北高等学校放送コンテスト(秋田大会, 2022年2月)ならびに第46回全国高等学校総合文化祭放送部門(東京大会, 2022年8月)の予選として実施。

- ・第46回全国高総文祭参加推薦は次のとおり。

アナウンス部門…盛岡三(2) 柝沢璃里, 盛岡第二(1) 杉本結良, 盛岡第一(2) 小林優香

朗読部門…盛岡第二(2) 阿部芙優花, 盛岡白百合学園(1) 西國菜, 盛岡第一(2) 千葉南美

オーディオメッセージ部門…盛岡第一

ビデオメッセージ部門…宮古, 不来方

③ 上位大会…県勢の全国大会入賞は次の3。東北大会は最優秀1など入賞8

- ・第68回NHK杯全国高校放送コンテスト

アナウンス部門 盛岡第一(3) 四戸 理稀 入選

ラジオドキュメント部門 盛岡第一 紙人生2周目, ノートになる 制作奨励

創作ラジオドラマ部門 花巻北 果実と塩は衣に踊る 制作奨励

- ・第25回東北高等学校放送コンテスト 2月11日(金)-13日(日) ウェブ上

アナウンス部門 盛岡第二(1) 杉本結良 入選

朗読部門 盛岡第二(2) 阿部芙優花 入選

ラジオキャンペーン部門 黒沢尻北 Love so seat 優良賞

盛岡南 YORITOMO 入選

テレビキャンペーン部門 不来方 仮面と"とも"に 最優秀賞

盛岡第一 innocence 優秀賞

黒沢尻北 片想い 優良賞

花巻北 燈 入選

イ 講習会事業…セミナーサポート事業, 盛岡支部事業, 上位大会関連事業, 協力事業関連として実施。

① 放送専門部・盛岡支部主催

- ・アナウンス朗読講習会 6月19日(土) オンライン

- ・放送講習会 9月19日(日) オンライン

- ・メディアコミュニケーションセミナー 10月6日(水) 県民会館

畑中美耶子(歴文館), 加藤久智・高橋典子(IBC岩手放送), 井手広法(いまココ), 木村俊幸各氏による部門別の講習。

- ・ **番組講習会** 11月22日(月) 県民会館
放送専門部による東北大会出場校への指導。
- ・ **アナウンス朗読講習会** 12月25日(土) 県民会館
安田知博氏による東北大会出場者等への指導。
- ・ **番組講習会** 3月26日(土) リモートでの井手広法氏による指導。
今年度は100,000円を補助

② 上位大会関連・協力事業関連

- ・ 高総体開会式司会 中止
- ・ IAT 純情応援歌 5-7月
- ・ 高校生交通安全テレビCMコンテスト・制作講習会 11月25日(木) 県庁で表彰式
- ・ 第15回全国高校生短歌大会司会・講習会 オンライン開催で協力なし
- ・ 高総文祭開会式司会 10月1日(金) 釜石 中止
- ・ 岩手芸術祭開幕フェスティバル 高校生の出演無し
- ・ いわて教育の日のつどい司会 高校生の出演無し
- ・ IAT ブカツTV

ウ 研修事業

① 第44回校内放送指導者講座(12/27-28, 県民会館からオンライン参加)

9名参加。この講座への参加者は累計45名(複数回参加を除く)となり、指導力・審査力の向上につながっている。

② 生徒派遣事業…該当2名・中止

エ その他

① 県高文連表彰…第2回理事会で報告。次のとおり県高文連に推薦し、受賞した。

連盟賞(生徒表彰)…2020(令和2)年9月1日～2021(令和3)年8月31日に全国大会(総文祭・NHK杯など)で優良賞(3位)以内に入賞した個人及び部(団体)。

- ・ 該当なし

功労賞(教職員表彰)…2020(令和2)年4月1日～2021(令和3)年3月31日に退職した教職員で、専門部長、指導者として全国大会優良賞(3位)以内に入賞したもの、指導者として全国大会に10回以上出品・出演させた方。

- ・ 高橋篤志 先生(盛岡第三高等学校を定年退職) 優秀指導者

(3) 決算報告

ア 一般会計

1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
A 前年度繰越	232,941	232,941	0	
B 登録料	150,000	160,000	10,000	1校あたり 10,000・被災地免除
C 参加料				
C-01 NHK杯県大会参加料	150,000	0	-150,000	1エントリーあたり1,000・被災地免除, 今年度無料
C-02 新人大会参加料	110,000	0	-110,000	1エントリーあたり1,000・被災地免除, 今年度無料
参加料小計	260,000	0	-260,000	
D 補助金				
D-01 県高総文祭部門費	80,000	80,000	0	NHK杯40,000・新人大会40,000
D-02 セミナーサポート費	430,000	331,999	-98,001	講習会430,000-98,001
D-03 強化費	50,000	50,000	0	新人大会50,000
D-04 専門部補助	170,000	170,000	0	NHK杯61,132, 新人大会108,868
D-05 研修費	50,000	50,000	0	新人大会50,000
補助金小計	780,000	681,999	-98,001	
E 雑収入	59	7	-52	利息
合計	1,423,000	1,074,947	-348,053	

2 支出の部

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
A 運営費				
A-01 分担金	30,000	18,410	11,590	東北高文連放送部会費10,000 東北県参加料20,000, 11,590返戻
A-02 事務費	3,000		3,000	事務費・通信費・会議費
A-03 旅費	40,000	13,993	26,007	第3回理事会
運営費小計	73,000	32,403	40,597	
B 事業費				
B-01 NHK杯県大会	350,000	101,132	248,868	事業予算・決算別途
B-02 新人大会	380,000	285,773	94,227	事業予算・決算別途
B-03 講習会	460,000	331,999	128,001	事業予算・決算別途
B-04 研修事業	20,000	56,082	-36,082	顧問研修会会場費・参加補助
事業費小計	1,210,000	774,986	435,014	
C 予備費	140,000		140,000	
総計	1,423,000	807,389	615,611	

3 残高

収入済額 - 支出済額 = 1,074,947 - 807,389 = 267,558 (次年度繰越金)

監査の結果、適正と認めます。

令和4年3月22日 監査 遠山 恵美
監査 高橋 篤志

- ・2021(令和3)年度第3回理事会の中間報告後の出納は、東北大会県参加料の返金11,590円と、第3回理事会旅費の精算(返戻)1,810円のみ。
- ・登録料について、被災校の免除(2校20,000円)をおこなった。登録料の前年度決算額との増減は50,000円の増。
- ・収入決算額の前年度決算額との増減は78,952円の増、支出決算額の前年度決算額との増減は44,334円の増。
- ・繰越267,558円は、予算額の18.8%である。

イ 事業費会計① NHK 杯県大会 (2021(令和3)年度第2回理事会で承認済)

1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
1 参加料	150,000	0	-150,000	ウェブ開催のため無し
2 県高総文祭部門費	40,000	40,000	0	一般会計収D-01
3 専門部補助	80,000	61,132	-18,868	一般会計収D-04
4 強化費	50,000	0	-50,000	一般会計収D-03
5 一般会計より	30,000	0	-30,000	一般会計収B
合計	350,000	101,132	-248,868	

2 支出の部

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
A 報償費				
A-01 審査員謝金	20,000	0	20,000	NHK以外の専門職無し
A-02 表彰費	45,000	33,780	11,220	楯(最優秀賞・優秀賞)
報償費小計	65,000	33,780	31,220	
B 旅費				
B-01 県大会関係	30,000	27,415	2,585	第1回理事会
B-02 上位大会関係	140,000	0	140,000	担当者会議・全国大会運営委員会中止
旅費小計	170,000	27,415	142,585	
C 需用費				
C-01 食糧費	55,000	26,000	29,000	審査員等の昼食費を全国大会に準じて支出
C-02 資料費	10,000	0	10,000	
需用費小計	65,000	26,000	39,000	
D 役務費	1,000	937	63	
E 予備費	49,000	13,000	49,063	
総計	350,000	101,132	261,931	

3 残高

$$\text{収入済額} - \text{支出済額} = 101,132 - 101,132 = 0$$

監査の結果、適正と認めます。

令和3年9月10日

監査

遠山 恵美

監査

高橋 篤志

- ・無会場，上位大会がウェブ開催で支出が大幅に減少したため，参加料は無しとした。参加料の決算額は前年度決算額と比べて増減無し。
- ・被災校の参加料免除(2校13エントリー，13,000円)をおこなった。
- ・支出決算額は前年度決算額と比べて54,312円の増。
- ・被災校の上位大会参加料(2校2エントリー13,000円)を補助した。

ウ 事業費会計② 新人大会 (2021(令和3)年度第3回理事会で承認済)

1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
1 参加料	110,000	0	-110,000	一般会計収C-02・被災地免除
2 県高総文祭部門費	40,000	40,000	0	一般会計収D-01
3 強化費	50,000	50,000	0	一般会計収D-03
4 専門部補助	90,000	108,868	18,868	一般会計収D-04
5 研修費	50,000	50,000	0	一般会計収D-05
6 一般会計より	40,000	36,905	-3,095	一般会計収B
合計	380,000	285,773	-94,227	

2 支出の部

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
A 報償費				
A-01 審査員謝金	80,000	80,000	0	20,000*4
A-02 表彰費	50,000	37,920	12,080	楯(最優秀賞・優秀賞)
報償費小計	130,000	117,920	12,080	
B 旅費				
B-01 県大会関係	40,000	18,900	21,100	第2回理事会・設営等
B-02 上位大会関係	122,000	0	122,000	高文連全国放送専門部理事会は引率・東北理事会はオンライン
旅費小計	162,000	18,900	143,100	
C 需用費				
C-01 食糧費	40,000	47,293	-7,293	審査員・係
C-02 資料費	5,000		5,000	事務用品
需用費小計	45,000	47,293	-2,293	
D 役務費	3,000	660	2,340	郵券・上位大会手続き・手数料
E 予備費	40,000	101,000	-61,000	上位大会被災校参加料・盛岡支部事業補助
総計	380,000	285,773	94,227	

3 残高

$$\text{収入済額} - \text{支出済額} = 285,773 - 285,773 = 0$$

監査の結果、適正と認めます。

令和4年2月18日 監査 遠山 恵美
監査 庵橋 篤志

- ・参加料は免除とした。参加料の決算額は前年度決算額と比べて 94,000 円の減。
- ・支出決算額は前年度決算額と比べて 23,972 円の増(ウェブ開催の東北大会審査員食糧費の支出による)。
- ・被災校の上位大会参加料(全国高総文祭 1 校 1 エントリー1,000 円)を予備費から支出した。また盛岡支部事業補助 100,000 円を予備費から支出した。

エ 事業費会計③ 講習会 (2021(令和3)年度第3回理事会で承認済)

1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
1 セミナーサポート費	430,000	331,999	-98,001	一般会計収D-02(431,898-35,219)
2 強化費			0	一般会計収D-03
3 専門部補助			0	一般会計収D-04
4 研修費	30,000	0	-30,000	一般会計収D-05
5 一般会計より			0	一般会計収B
合計	460,000	331,999	-30,000	

2 支出の部

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
A 報償費	170,000	134,610	35,390	講師謝礼@20,000/日+源泉徴収
B 旅費				
B-01 講師旅費	164,000	78,740	85,260	高文連旅費規程による定額
B-02 講師宿泊費	80,000	29,400	50,600	高文連旅費規程による定額
旅費小計	244,000	108,140	135,860	
C 需用費				
C-01 資料作成費			0	
C-02 印刷代			0	
C-03 教材作成費			0	
C-04 講師昼食代	40,000	14,878	25,122	講師・役員
C-05 消耗品費		70,751	-70,751	リモート用機材
需用費小計	40,000	85,629	-45,629	
D 役務費				
D-01 郵便料金	1,000	540	460	現金書留
D-02 宅配料金			0	
D-03 運搬費	3,000	2,200	800	駐車場代
D-04 振込手数料	2,000	880	1,120	220*2+440
D-05 その他通信費			0	
役務費小計	6,000	3,620	2,380	
E 使用料・貸借料				
E-01 会場費			0	
E-02 機器使用料			0	
使用料・貸借料小計	0	0	0	
F 予備費			0	
総計	460,000	331,999	128,001	

3 残高

収入済額 - 支出済額 = 331,000 - 331,999 = 0

監査の結果、適正と認めます。

令和4年2月18日

監査

遠山 恵美

監査

高橋 篤志

・事業ごとの支出額は次のとおり。

		昨年度決算額比
① アナウンス朗読講習会(6/19 オンライン)	0円	0円
② 放送講習会(9/19 オンライン)	0円	0円
③ メディアコミュニケーションセミナー(10/6)	172,920円	-95,486円
④ 番組講習会(11/22)	3,000円	-30,034円
⑤ アナウンス朗読講習会(12/25)	95,639円	400円
合計	271,559円	-125,120円

・県高文連からのセミナーサポート費 431,898 円のうち 98,001 円を返金した。

・令和4年度の県高文連からのセミナーサポート費は、例年どおり 430,000 円の予定。

協議 2 2022(令和 4)年度役員 (改選期, 理事校 25 校, 出席者は下線)

専門部長	岩手県立金ヶ崎高等学校長	宮学	
副専門部長	岩手県立盛岡第三高等学校長	木村克則	
副専門部長	岩手県立盛岡南高等学校長	阿部圭次	
専門部代表理事	岩手県立盛岡第三高等学校	高橋篤志	(事務局長, NHK 杯運営委員)
専門部理事			
岩手県立盛岡第一高等学校	細川純平(芳賀範文)		2032～33 年度事務局校
岩手県立盛岡第二高等学校	菊地達哉	(監事, 上位大会担当※)	前事務局校
岩手県立盛岡第三高等学校	太田柚子		事務局校
岩手県立盛岡第四高等学校	皆川直輝		2038～39 年度事務局校
岩手県立盛岡北高等学校	千葉雅彦		2036～37 年度事務局校
岩手県立盛岡南高等学校	風張沙樹	(監事)	次期事務局校
岩手県立不来方高等学校	岡田伸一郎		2026～27 年度事務局校
岩手県立杜陵高等学校定時制	山田壮一		
岩手県立杜陵高等学校通信制	曾我範晃		
岩手県立盛岡工業高等学校	小野寺真由美		2028～29 年度事務局校
岩手県立盛岡商業高等学校	谷崎勝広(千葉伊織)		2030～31 年度事務局校
岩手県立紫波総合高等学校	鈴木勇二	(盛岡支部理事)	
盛岡市立高等学校	山崎治子		2034～35 年度事務局校
岩手中・高等学校	大沢田真也		2040～41 年度事務局校
盛岡白百合学園中学高等学校	成田奈穂(遠山恵美)		2042～43 年度事務局校
岩手県立花巻北高等学校	小田諭	(花巻支部理事)	
岩手県立花巻農業高等学校	森田義広		
岩手県立黒沢尻北高等学校	高橋知己	(北上支部理事)	
岩手県立岩谷堂高等学校	山平清人	(奥州支部理事)	
岩手県立一関工業高等学校	小幡直子	(一関支部理事)	
岩手県立大船渡高等学校	菊田光哉	(気仙支部理事)	
		(釜石支部理事空席)	
岩手県立宮古高等学校	菊地奈樹	(宮古支部理事)	
岩手県立宮古商工高等学校	和山真也		
岩手県立久慈高等学校	大釜由紀	(久慈支部理事)	
岩手県立福岡高等学校	佐藤翔太	(二戸支部理事)	

(※ NHK 杯運営部, 高文連全国放送専門部理事, 東北地区高文連放送部会理事、東北アナ朗事務局)

参考：理事校顧問一覧

岩手県立盛岡第一高等学校	細川純平・芳賀範文・谷藤さなえ
岩手県立盛岡第二高等学校	菊地達哉・荒木田大貴
岩手県立盛岡第三高等学校	高橋篤志・太田柚子
岩手県立盛岡第四高等学校	皆川直輝・立花裕子
岩手県立盛岡北高等学校	千葉雅彦
岩手県立盛岡南高等学校	風張沙樹・阿部雄至
岩手県立不来方高等学校	岡田伸一郎
岩手県立杜陵高等学校定時制	山田壮一
岩手県立杜陵高等学校通信制	曾我範晃
岩手県立盛岡工業高等学校	小野寺真由美・佐藤努
岩手県立盛岡商業高等学校	谷崎勝弘・千葉伊織・三浦義道
紫波総合高等学校	鈴木勇二・羽上司
盛岡市立高等学校	山崎治子・(佐藤素子)
岩手中・高等学校	大沢田真也・一郷翔徳
盛岡白百合学園中学高等学校	成田奈穂・柴田康平
岩手県立花巻北高等学校	小田諭
岩手県立花巻農業高等学校	森田義広
岩手県立黒沢尻北高等学校	高橋知己・菊池慶幸
岩手県立岩谷堂高等学校	山平清人
岩手県立一関工業高等学校	小幡直子・菅野祐子
岩手県立大船渡高等学校	菊田光哉
岩手県立宮古高等学校	菊地奈樹
岩手県立宮古商工高等学校	和山真也
岩手県立久慈高等学校	大釜由紀
岩手県立福岡高等学校	佐藤翔太

協議 3 2022(令和4)年度事業計画ならびに予算

(1) 事業計画(2021(令和3)年度第2回理事会までに承認済)

- ・規約第5条により，大会事業・講習会事業・顧問研修事業・その他の4つで構成する。
- ・以下の日程原則により，次ページのとおり会場を確保している。
- ・9月までの主催事業の要項は，今回の理事会で協議する(NHK杯県大会は協議4，アナウンス朗読講習会は協議5，放送講習会は協議6)。10月以降のものは第2回理事会で協議する。
- ・昨年度までの要項等は，放送専門部のウェブサイト公開している。

日程原則

- ・ 第1回理事会(理事総会)…4月第3週の金曜日 (県高文連理事会後)
- ・ NHK杯県大会(県民会館)
原則: 6月第2週の月曜(準備・大会, 13:30-)・火曜(大会)…高総体後・考査前
- ・ アナウンス朗読講習会(NHK盛岡局, 全国大会出場者対象)…7月中旬
(NHK盛岡局との協議により決定)
- ・ 第2回理事会…9月上旬の金曜日
- ・ 放送講習会(県民会館)
原則: 9月3連休(以上)の初日(準備, 17:30-)・中日(行事)…県外校招聘のため
- ・ メディアコミュニケーションセミナー(県民会館)
原則: 10月体育の日の翌日(準備)・翌々日(行事)…高総文祭開会式後
- ・ 新人大会(県民会館)
原則: 11月第2週, メディアコミュニケーションセミナーと曜日を一致(初日準備・大会, 13:30, 翌日大会)…運動部の新人大会後・考査前
- ・ 11月番組講習会(県民会館)
原則: 11月勤労感謝の日の週…修学旅行前
- ・ 12月アナ朗講習会(県民会館)
原則: 12月下旬の土日のいずれか
- ・ 第3回理事会…2月第3週の金曜日(県高文連理事会後)
- ・ 3月番組講習会(盛岡支部主催事業)
原則: 終業式後の休日

月	日	曜	事業名 (太字は生徒参加の事業)	会場	主催者 (太字は主催)
4	15	金	理事総会・第1回理事会	盛岡第三高校	放送専門部
6	6 7	月 火	第45回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第69回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会	県民会館	放送専門部・NHK
6	中・下旬		セミナーサポート事業①アナウンス朗読講習会	NHK盛岡放送局	放送専門部
6	27 28	月 火	第22回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト	細野コミュニティセンター	東北高文連 主管事業
7	7 9	木 土	第69回NHK杯全国高校放送コンテスト準々決勝	ウェブ上	全放連・NHK
7	26 28	火 木	第69回NHK杯全国高校放送コンテスト準決勝・決勝	オリンピックセンター(準決勝) ・NHKホール(決勝)	全放連・NHK
8	2	火	高文連全国放送専門部理事会	日本工学院蒲田キャンパス	全国高文連
8	3 4	水 木	第46回全国高等学校総合文化祭(東京大会)放送部門	日本工学院蒲田キャンパス	全国高文連
9	9	金	第2回理事会	盛岡第三高校	放送専門部
9	中・下旬		東北地区高等学校文化連盟放送部会理事会	(青森県)	東北高文連
9	18	日	セミナーサポート事業②放送講習会	県民会館	放送専門部
10	7	金	第45回岩手県高等学校総合文化祭総合開会式	宮古市民文化会館 (宮古高校主管)	県高文連 (盛岡支部主管)
10	12	水	セミナーサポート事業③メディアコミュニケーションセミナー	県民会館	放送専門部
11	1 2	火 水	第45回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第40回岩手県高等学校放送新人大会	県民会館	放送専門部
11	23	水	セミナーサポート事業④番組講習会	県民会館	放送専門部
12	24	土	セミナーサポート事業⑤アナウンス朗読講習会	県民会館	放送専門部
12	下旬		校内放送指導者講座	(東京)	全放連・NHK
2	11 12	土 日	第26回東北高等学校放送コンテスト	八戸市公会堂・公民館	東北高文連
2	中旬		第3回理事会・会計監査	盛岡第三高校	放送専門部
3	19	日	番組講習会	県民会館	盛岡支部
3	下旬		NHK杯全国高校放送コンテスト担当者会議	NHK放送センター(東京)	全放連・NHK

- ・感染症流行の状況によっては主催行事の実施方法を変更する。
- ・9月の放送講習会の県外からの招聘は未定。

ア 大会事業

① 主催大会(放送コンテスト県大会, 放送新人大会)

- ・いずれも第45回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会, ならびに上位大会の県予選として開催する。上位大会出場を前提としてエントリーすること。
- ・大会は, 2日日程を原則とし, エントリー数によっては1日開催とする。参加申込み締切は, 大会3週間前を原則とする。
- ・参加料は, 1エントリー当たり1,000円。東日本大震災の被災校・被災者に対する参加料の免除については当面継続する。免除対象の判断は参加校の校長がおこなうこととし, 大会の案内文書に記載する。参加料免除のエントリーが上位大会に進出した場合, 上位大会の参加料は, 放送専門部の会計から支出する。

② 上位大会

- ・第22回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト(中止の見込み) 主管事業
<http://www2.iwate-ed.jp/housou/anarou/> 岩手県高文連放送専門部の主管で実施。
夏の全国大会アナ朗代表相当を対象。
- ・第69回NHK杯全国高校放送コンテスト(東京) 7/7-28
http://www.nhk-sc.or.jp/kyoiku/ncon/ncon_h/ NHK杯県大会の上位大会。
準々決勝はすべて録音・録画物による審査。準決勝以上を集合・実演で予定。
全国大会運営部に盛岡第二・菊地達哉, 運営委員に盛岡第三・高橋篤志を県推薦。
審査員として, 次の6名を県推薦。

アナウンス準々決勝D(7/7-9)	盛岡市立・山崎治子
ラジドキュ準々決勝C(7/7-9)	盛岡第一・細川純平
テレドキュ準々決勝B(7/7-9)	花巻北・小田諭
テレドラ準々決勝B(7/7-9)	紫波総合・鈴木勇二

・第46回全国高等学校総合文化祭放送部門(東京都大田区) 8/3-4

<https://tokyo-soubun2022.ed.jp/> 前年度新人大会の上位大会。代表は次のとおり。

- ・アナウンス部門…盛岡第三(3) 柝沢璃里, 盛岡第二(2) 杉本結良, 盛岡第一(3) 小林優香
- ・朗読部門…盛岡第二(3) 阿部芙優花, 盛岡白百合学園(2) 西國菜, 盛岡第一(3) 千葉南美
- ・オーディオメッセージ部門…盛岡第一, ビデオメッセージ部門…宮古, 不来方

担当

- ・全体…盛岡第二・菊地達哉

アナ・朗読…盛岡第二・菊地達哉, 番組…盛岡第一・細川純平

準備日程

- ・4/28(木) 正午 一式集約(郵送等)→盛岡第二・菊地達哉
- ・5/13(金) 宿泊・弁当等(サポート室での受付の場合)

表彰…各ブロックから1名(1本)を優秀賞に選出, 総合成績1位の都道府県に文部科学大臣賞・2位に文化庁長官賞を授与する

- ・東京大会のグループ(ブロック) 時間は予想

アナウンス部門: ブロック G(北海道・岩手・滋賀・山口・愛媛・開催県) 8/4 午後?

朗読部門: ブロック A(岩手・広島・愛媛・高知・長崎・熊本) 8/3 午前?

AM 部門: ブロック C/D(埼玉・愛知・和歌山・佐賀・大分・宮崎 /

岩手・群馬・福井・三重・島根・福岡) 8/3 午後?

VM 部門: ブロック D(岩手・群馬・福井・三重・島根・福岡) 8/3 午後? 8/4 午前?

・第26回東北高等学校放送コンテスト(八戸市公会堂・公民館)2023(令和5)年2/11(土)-12(日)

- ・今年度の新人大会の上位大会。キャンペーン部門のキーワードは「W」

・第47回全国高等学校総合文化祭放送部門(鹿児島)

- ・鹿児島市 かごしま県民交流センター 2023(令和5)年8/3-4
- ・今年度の新人大会の上位大会。

イ 講習会事業

① 主催講習会…いずれの講習会も、セミナーサポート事業として開催する。参加料は無料。

参加申込み締切は、開催2週間前を原則とする。

- ・アナウンス朗読講習会(NHK盛岡局) 6月中・下旬 →協議5
全国大会のアナウンス部門・朗読部門代表対象
- ・放送講習会(県民会館) 9/18(日) →協議6
- ・メディアコミュニケーションセミナー(県民会館) 10/12(水)
専門職による部門別(アナウンス・朗読・テレビ・ラジオ)講習
- ・番組講習会(県民会館) 11/23(水) 東北大会代表対象
- ・アナウンス朗読講習会(県民会館) 12/24(土) 東北大会アナ朗代表対象
- ・番組講習会(県民会館) 3/19(日) 盛岡支部主催

② 上位大会関連・協力事業関連…放送専門部のウェブサイト、メーリングリスト等で周知。

- ・交通安全テレビCMコンテスト講習会、短歌甲子園司会講習会他

ウ 研修事業

予算の執行状況をみて、校内放送指導者講座(12月下旬、東京)への派遣と参加補助、他県の研修会・講習会等への生徒の派遣補助を検討する。他県の行事については、メーリングリストで周知する。

エ その他

- ① **協力事業(県内諸団体からの協力要請によるもの)**…県高総体総合開会式，県高総文祭総合開会式，いわて教育の日記念行事，県内諸団体の依頼(IAT ブカツ TV・純情応援歌，交通安全テレビCM コンテスト，短歌甲子園)等について協力する。このうち，交通安全テレビCM コンテストと短歌甲子園の担当は，紫波総合高校・鈴木勇二先生。

県高総文祭総合開会式(10月第1週の金曜日が原則)の担当支部は次のとおり。

- ・2022(令和4)年度宮古支部(宮古高校主管) 10/7(金) 宮古市民文化会館
- ・2023(令和5)年度盛岡支部(盛岡誠桜高校主管) 10/13(金) 県民会館
- ・2024(令和6)年度二戸支部(福岡高校主管)
- ・2025(令和7)年度気仙支部(高田高校主管)
- ・2026(令和8)年度盛岡支部
- ・2027(令和9)年度奥州支部
- ・2028(令和10)年度久慈支部
- ・2029(令和11)年度盛岡支部

- ② **高文連表彰**…県高文連表彰規程に該当するものを推薦する。第2回理事会で報告。

- ・**功労賞(教職員表彰)**…2021(令和3)年4月1日～2022(令和4)年3月31日に退職した教職員で，専門部長経験者，専門部の事務局長(代表理事)を3年以上担当した方，指導者として全国大会優良賞(3位)以内に入賞させた方，指導者として全国大会に10回以上出品・出演させた方のいずれかにあたる方を専門部として推薦する。
 - ・小原貴人 先生(盛岡第二高等学校長を定年退職) 2020(令和2)年度専門部長
- ・**連盟賞(生徒表彰)**…2021(令和3)年9月1日(昨年度の全国高総文祭を除く)～2022(令和4)年8月31日に全国大会(総文祭・NHK杯など)で優良賞(3位)以内に入賞した個人及び部(団体)。

(2) 予算

ア 一般会計

1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
A 前年度繰越	267,558	232,941	232,941	34,617	
B 登録料	150,000	150,000	160,000	0	1校あたり10,000・被災地免除
C 参加料					
C-01 NHK杯県大会参加料	150,000	150,000	0	0	1エントリーあたり1,000・被災地免除
C-02 新人大会参加料	110,000	110,000	0	0	1エントリーあたり1,000・被災地免除
参加料小計	260,000	260,000	0	0	
D 補助金					
D-01 県高総文祭部門費	80,000	80,000	80,000	0	NHK杯40,000・新人大会40,000
D-02 セミナーサポート費	430,000	430,000	331,999	0	講習会430,000
D-03 強化費	50,000	50,000	50,000	0	新人大会50,000
D-04 専門部補助	170,000	170,000	170,000	0	NHK杯90,000・新人大会45,000・他35,000
D-05 研修費	50,000	50,000	50,000	0	講習会30,000・新人大会20,000
補助金小計	780,000	780,000	681,999	0	
E 雑収入	42	59	7	-17	利息
合計	1,457,600	1,423,000	1,074,947	34,600	

2 支出の部

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
A 運営費					
A-01 分担金	30,000	30,000	18,410	0	東北高文連放送部会費10,000・東北県参加料20,000
A-02 事務費	3,000	3,000		0	事務費・通信費・会議費
A-03 旅費	40,000	40,000	13,993	0	第3回理事会等
運営費小計	73,000	73,000	32,403	0	
B 事業費					
B-01 NHK杯県大会	350,000	350,000	101,132	0	事業予算・決算別途
B-02 新人大会	380,000	380,000	285,773	0	事業予算・決算別途
B-03 講習会	460,000	460,000	331,999	0	事業予算・決算別途
B-04 研修事業	44,000	20,000	56,082	24,000	全国研修会派遣補助等
事業費小計	1,234,000	1,210,000	774,986	24,000	
C 予備費	150,600	140,000		10,600	
総計	1,457,600	1,423,000	807,389	34,600	

イ 事業費会計① NHK 杯県大会

1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
1 参加料	150,000	150,000	0	0	一般会計収C-01・被災地免除
2 県高総文祭部門費	40,000	40,000	40,000	0	一般会計収D-01
3 専門部補助	80,000	80,000	61,132	0	一般会計収D-04
4 強化費	50,000	50,000	0	0	一般会計収D-03
5 一般会計より	30,000	30,000	0	0	一般会計収B
合計	350,000	350,000	101,132	0	

2 支出の部

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
A 報償費					
A-01 審査員謝金	20,000	20,000	0	0	NHK以外の専門職審査員の場合1名
A-02 表彰費	45,000	45,000	33,780	0	楯(最優秀賞・優秀賞)
報償費小計	65,000	65,000	33,780	0	
B 旅費					
B-01 県大会関係	30,000	30,000	27,415	0	第1回理事会・設営等
B-02 上位大会関係	140,000	140,000	0	0	担当者会議・全国大会運営委員会
旅費小計	170,000	170,000	27,415	0	
C 需用費					
C-01 食糧費	55,000	55,000	26,000	0	審査員・係
C-02 資料費	10,000	10,000	0	0	事務用品
需用費小計	65,000	65,000	26,000	0	
D 役務費	1,000	1,000	937	0	郵券・上位大会手続き・手数料
E 予備費	49,000	49,000	13,000	0	上位大会被災校参加料
総計	350,000	350,000	101,132	0	

ウ 事業費会計② 新人大会

1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
1 参加料	110,000	110,000	0	0	一般会計収C-02・被災地免除
2 県高総文祭部門費	40,000	40,000	40,000	0	一般会計収D-01
3 強化費	50,000	50,000	50,000	0	一般会計収D-03
4 専門部補助	90,000	90,000	108,868	0	一般会計収D-04
5 研修費	50,000	50,000	50,000	0	一般会計収D-05
6 一般会計より	40,000	40,000	36,905	0	一般会計収B
合計	380,000	380,000	285,773	0	

2 支出の部

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
A 報償費					
A-01 審査員謝金	80,000	80,000	80,000	0	20,000*4
A-02 表彰費	50,000	50,000	37,920	0	楯(最優秀賞・優秀賞)
報償費小計	130,000	130,000	117,920	0	
B 旅費					
B-01 県大会関係	40,000	40,000	18,900	0	第2回理事会・設営等
B-02 上位大会関係	122,000	122,000	0	0	高文連全国放送専門部理事会・東北理事会
旅費小計	162,000	162,000	18,900	0	
C 需用費					
C-01 食糧費	40,000	40,000	47,293	0	審査員・係
C-02 資料費	5,000	5,000		0	事務用品
需用費小計	45,000	45,000	47,293	0	
D 役務費	3,000	3,000	660	0	郵券・上位大会手続き・手数料
E 予備費	40,000	40,000	101,000	0	上位大会被災校参加料
総計	380,000	380,000	285,773	0	

エ 事業費会計③ 講習会

1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
1 セミナーサポート費	430,000	430,000	331,999	0	一般会計収D-02
2 強化費				0	一般会計収D-03
3 専門部補助				0	一般会計収D-04
4 研修費	30,000	30,000	0	0	一般会計収D-05
5 一般会計より				0	一般会計収B
合計	460,000	460,000	331,999	0	

2 支出の部

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
A 報償費	170,000	170,000	134,610	0	講師謝礼@20,000/日+源泉徴収
B 旅費					
B-01 講師旅費	164,000	164,000	78,740	0	高文連旅費規程による定額
B-02 講師宿泊費	80,000	80,000	29,400	0	高文連旅費規程による定額
旅費小計	244,000	244,000	108,140	0	
C 需用費					
C-01 資料作成費				0	
C-02 印刷代				0	
C-03 教材作成費				0	
C-04 講師昼食代	40,000	40,000	14,878	0	講師・役員
C-05 消耗品費			70,751	0	
需用費小計	40,000	40,000	85,629	0	
D 役務費					
D-01 郵便料金	1,000	1,000	540	0	
D-02 宅配料金				0	
D-03 運搬費	3,000	3,000	2,200	0	
D-04 振込手数料	2,000	2,000	880	0	
D-05 その他通信費				0	
役務費小計	6,000	6,000	3,620	0	
E 使用料・貸借料					
E-01 会場費				0	
E-02 機器使用料				0	
使用料・貸借料小計	0	0	0	0	
F 予備費				0	
総計	460,000	460,000	331,999	0	

・事業ごとの支出見込額は次のとおり。

		昨年度決算額比
① アナウンス朗読講習会(7月)	5,000円	5,000円増
② 放送講習会(9月)	210,000円	210,000円増
③ メディアコミュニケーションセミナー(10月)	110,000円	62,920円減
④ 番組講習会(11月)	30,000円	27,000円増
⑤ アナウンス朗読講習会(12月)	75,000円	20,639円減
合計	430,000円	158,441円増

協議 4 NHK 杯県大会要項

(省略 放送専門部のサイト参照 <http://www2.iwate-ed.jp/housou/>)

協議 5 アナウンス朗読講習会要項 (案)

この夏の全国大会に出場するアナウンス・朗読の代表生徒対象。
詳細は6月7日(火)の代表校打合せ会にて。

協議 6 放送講習会要項 (案)

9月18日(日) 岩手県民会館中ホール他
開催方法検討中。内容等については事務局一任。

協議 7 その他

(協議題なし)

連絡 1 2023(令和5)年度以降の予定

(1) 2023(令和5)年度の日程 (2021(令和3)年度第3回理事会で連絡済)

協議3(1)の日程原則により、次のとおり会場を仮予約済み。

月	日	曜	事業名 (太字は生徒参加の事業)	会場	主催者 (太字は主催)
4	中旬		理事総会・第1回理事会	盛岡第三高校	放送専門部
6	5 6	月 火	第46回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第70回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会	県民会館	放送専門部・NHK
6	26 27	月 火	第23回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト	細野コミュニティセンター	東北高文連 主管事業
7	1 2	土 日	NHK杯全国高校放送コンテスト担当者会議	NHK放送センター(東京)	全放連・NHK
7	中旬		セミナーサポート事業①アナウンス朗読講習会	NHK盛岡放送局	放送専門部
7	下旬		第70回NHK杯全国高校放送コンテスト	NHKホール(決勝)・オリ ンピックセンター(準決勝ま で)	全放連・NHK
7	下旬		Nコン番組制作セミナー?		全放連・NHK
8	2	水	高文連全国放送専門部理事会	かごしま県民交流センター	全国高文連
8	3 4	木 金	第47回全国高等学校総合文化祭(鹿児島大会)放送部門	かごしま県民交流センター	全国高文連
9	上旬		第2回理事会	盛岡第三高校	放送専門部
9	中・下旬		東北地区高等学校文化連盟放送部会理事会	県民会館	東北高文連
9	17	日	セミナーサポート事業②放送講習会	県民会館	放送専門部
10	4	水	セミナーサポート事業③メディアコミュニケーションセミナー	県民会館	放送専門部
10	13	金	第46回岩手県高等学校総合文化祭総合開会式	県民会館 (盛岡誠桜高校主管)	県高文連 (盛岡支部主管)
11	7 8	火 水	第46回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第41回岩手県高等学校放送新人大会	県民会館	放送専門部
11	22	水	セミナーサポート事業④番組講習会	県民会館	放送専門部
12	23	土	セミナーサポート事業⑤アナウンス朗読講習会	県民会館	放送専門部
12	下旬		校内放送指導者講座	(東京)	全放連・NHK
2	3 4	土 日	第27回東北高等学校放送コンテスト	県民会館	東北高文連 岩手県主管
2	中旬		第3回理事会・会計監査	盛岡第三高校	放送専門部
3	下旬		番組講習会	(盛岡市)	盛岡支部
3	下旬		NHK杯全国高校放送コンテスト担当者会議	NHK放送センター(東京)	全放連・NHK

(2) 2023 年度以降の上位大会 (2021(令和 3)年度第 2 回理事会で連絡済)

ア NHK 杯全国高校放送コンテスト全国大会決勝の日

- ・2023(令和 5)年 70 回大会以降は未公表

イ 全国高等学校総合文化祭

- ・2023(令和 5)年 47 回大会 鹿児島県 鹿児島市 かがしま県民交流センター
- ・2024(令和 6)年 48 回大会 岐阜県
- ・2025(令和 7)年 49 回大会 香川県
- ・2026(令和 8)年 50 回大会 秋田県
- ・2027(令和 9)年 51 回大会 北信越ブロック(新潟・富山・石川・福井・長野)のいずれかの県
- ・岩手の可能性があるのは 2032 年

ウ 東北高等学校放送コンテスト…秋田から時計回りを原則とする。

- ・2023(令和 5)年度 27 回大会 岩手県 2024(令和 6)年 2/3(土)-4(日) 県民会館
- ・2024(令和 6)年度 28 回大会 宮城県
- ・2025(令和 7)年度 29 回大会 福島県 全国総文リハーサル大会として秋田県の可能性あり
- ・2026(令和 8)年度 30 回大会 山形県 29 回大会が秋田県の場合は福島県
- ・2027(令和 9)年度 31 回大会 秋田県 29 回大会が秋田県の場合は山形県

連絡 2 放送専門部の連絡方法

(1) 放送専門部ウェブサイトについて

<http://www2.iwate-ed.jp/housou/>

(2) 放送専門部顧問メーリングリストについて

- ・放送専門部顧問のメールアドレスを登録したメーリングリストを設けています。また、連絡は原則としてメーリングリストまたは個別のメールによりますので、一日一度はメールの確認をお願いします。

(3) 事務局からの文書発送について

- ・事務局からの文書は、放送専門部のウェブサイトに掲載しデータをダウンロードできるようにします。その都度、メーリングリストまたは個別のメールで周知します。

連絡3 その他

(1) 理事会の旅費の計算について

- ・理事会の旅費は、県高文連旅費規程により、専門部が負担します。
- ・旅費の算出は、各自(各校)でおこなってください。各校の事務室で出張の実態(発着地、通勤経路との関係、私用車公用の有無など)にあわせて算出してもらい、理事会出席の報告時に、交通費(運賃・車賃)・現地経費をお知らせください。
- ・近隣の学校での乗りあわせなど、経費節減へのご協力もよろしくお願いいたします。

(2) 県高文連理事会(4/11 サンセール盛岡)報告

- ・全国総文祭(東京)の県高文連の生徒旅費補助は8,000円×上限2泊+行動費14,000円。補助人数は、アナ朗はそれぞれ代表生徒1名、番組は1本につき3名。
- ・今年度の全国高文連研究大会(那覇)への派遣は、放送・美術工芸・合唱・郷土芸能各1名。
- ・県高文連40周年記念誌は6月発刊予定。

(3) その他

- ・5/12 県高総体開会式(タカヤアリーナ)司会は新人大会アナ朗上位の3年生に依頼
- ・5/12 県高総体開会式(タカヤアリーナ)上映ビデオは盛岡第三が編集
- ・2023(令和5)年度全国植樹祭の高校生アシスタントアナウンサー2名の選考は新人大会でおこなう予定。植樹祭の日時は未定(6月上旬、リハーサルと本番の連続2日、練習会複数)、会場は陸前高田市、担当は盛岡第二・菊地達哉。
- ・12/1-2 全国高文連研究大会(沖縄)に放送専門部から教員の派遣1名あり。
- ・このあと全国総文代表校顧問の打合せ

岩手県高等学校文化連盟放送専門部規約

第1章 総則

第1条(名称)

本専門部は、岩手県高等学校文化連盟放送専門部と称し、岩手県高等学校文化連盟に所属する。

第2条(事務局)

本専門部は、事務局を専門部長が委嘱する学校に置く。

第3条(構成)

本専門部は、岩手県高等学校文化連盟加盟校の放送・視聴覚等の部・委員会等(以下「放送部等」という)により構成する。

2 本専門部に岩手県高等学校文化連盟が定める10支部(盛岡、花巻、北上、奥州、一関、気仙、釜石、宮古、久慈、二戸)を置く。

第2章 目的及び事業

第4条(目的)

本専門部は、岩手県高等学校文化連盟の掲げる目的に即して、放送部等の相互理解と、校内放送活動の育成、振興、ならびに健全な発展に寄与することを目的とする。

第5条(事業)

本専門部は、前条の目的達成のために、次の事業を行う。

- (1) 大会、講習会、研修会の開催に関すること。(NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会、岩手県高等学校放送新人大会等)
- (2) 放送部等の情報交換および連絡に関すること。
- (3) 校内放送活動の研究に関すること。
- (4) 関係機関との情報交換および交流に関すること。
- (5) その他目的達成に必要な事業

第3章 役員

第6条(役員)

本専門部に次の役員を置く。

- (1) 専門部長 1名
- (2) 副専門部長 若干名

(3) 専門部代表理事(事務局長) 1名

(4) 専門部理事 若干名

(5) 支部理事 各支部1名(10名)

(6) 監事 2名

第7条(事務局)

本専門部事務局に次の事務局員を置く。

(1) 事務局長(専門部代表理事) 1名

(2) 庶務担当 若干名

(3) 会計担当 若干名

第8条(職務)

役員の職務は次のとおりとする。

- (1) 専門部長は、本専門部を代表し、会務を統轄する。
- (2) 副専門部長は、専門部長を補佐し、専門部長に事故あるときは、その職務を代行する。
- (3) 専門部代表理事は、理事会を統括し、事務局長として会務を処理する。
- (4) 専門部理事は、理事会を組織し、会務を処理する。
- (5) 監事は、業務の監督及び会計の監査を行う。
- (6) 事務局員は、本専門部の事務を処理する。

第9条(選出)

役員の選出は次のとおりとする。

- (1) 専門部長は、岩手県高等学校長協会の推薦により、理事総会で承認する。
- (2) 副専門部長は、理事総会の推薦により、専門部長が委嘱する。
- (3) 専門部代表理事(事務局長)、専門部理事、監事は、理事総会の推薦により、専門部長が委嘱する。
- (4) 支部理事は、専門部理事より各支部で選出し、理事総会で承認する。
- (5) 事務局員は、専門部長が委嘱する。

2 役員の重任は妨げない。

第10条(任期)

役員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 役員に欠員が生じたときは補充することができる。

第4章 会議

第11条(会議)

本専門部の会議は次のとおりとする。

- (1) 理事総会 本専門部役員全員で構成する。理事総

会は本専門部の最高決議機関であり、毎年1回専門部長が招集する。

- (2) 理事会 専門部長、副専門部長、専門部代表理事(事務局長)、専門部理事で構成する。必要に応じて専門部長が招集する。
- (3) 事業実行委員会 主催事業毎、ならびに上位大会を主管する毎に組織する。必要に応じて専門部長が招集する。

第12条(会議に付議すべき事項)

- (1) 理事総会
 - ① 事業報告および決算
 - ② 事業計画および予算
 - ③ 役員を選出
 - ④ 規約の改定
 - ⑤ その他特に必要な事項
- (2) 理事会
 - ① 理事総会から委嘱された事項
 - ② 細則の改定
 - ③ 加盟団体から提案された事項
 - ④ その他必要な事項

第13条(議決)

会議は構成校の3分の2以上の出席で成立するものとし、委任状はこれを認める。

- 2 議決は出席者の過半数の賛否により決定する。ただし1校1票とする。

第5章 会計

第14条(会計)

本連盟の経費は、登録料・参加料・補助金(岩手県高等学校文化連盟等)・寄付金及びその他の収入をもって、これにあてる。

第15条(会計年度)

本専門部の会計年度は当年4月1日から翌年の3月31日までとする。

第16条(会計経理)

本専門部の会計は、別に定める会計事務に関する細則による。

附則

- 1 この規約は、理事総会の議決によらなければ変更することができない。
- 2 この規約の実行に必要な細則は、理事会の議決をへて別に定める。
- 3 この規約は、平成13年4月1日から施行する。
- 4 この規約は、平成15年4月から施行する。
- 5 この規約は、平成18年4月から施行する。
- 6 この規約は、平成20年4月から施行する。
- 7 この規約は、平成21年4月から施行する。

役員選出に関する細則

第1条(趣旨)

この細則は、岩手県高等学校文化連盟放送専門部規約の附則に基づき、同規約第6条および第9条による役員選出について定めるものである。

第2条(役員選出の原案)

役員を選出については、別表1により原案を作成する。事務局については第3条で定める。

第3条(事務局の輪番)

- 事務局は、2年交代の輪番制とする。
- 2 輪番制の対象校は盛岡支部内の専門部理事担当校とする。
 - 3 輪番制の詳細については、別表2による。

附則

- 1 この細則は理事会の議により改定することができる。
- 2 別表1および別表2は、事務局が交代する直前の理事会で改定することを原則とする。
- 3 この細則は、平成13年4月1日から施行する。
- 4 この細則は、平成16年4月から施行する。
- 5 この細則は、平成17年4月から施行する。
- 6 この細則は、平成20年4月から施行する。
- 7 この細則は、平成21年4月から施行する。
- 8 この細則は、平成24年4月から施行する。

別表1 役員案作成に関する事項

- 専門部長 岩手県高等学校長協会の推薦による。
- 副専門部長 事務局校の校長ならびに次期事務局校の校長とする。ただし専門部長が事務局校校長である場合は次期事務局校校長のみとする。
- 専門部代表理事(事務局長) 事務局校の専門部理事とする。
- 専門部理事 大会(NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会、岩手県高等学校放送新人大会等)に参加する学校ならびに盛岡支部の学校を原則とする。
- 監事 前事務局校と次期事務局校とする。
- 備考 専門部長について2021(令和3)年4月の岩手県高等学校長協会の推薦は、金ヶ崎高等学校長。

別表2 事務局の輪番に関する事項

- | | |
|-----------|-------------|
| 1 盛岡白百合学園 | 2018～2019年度 |
| 2 盛岡第二 | 2020～2021年度 |
| 3 盛岡第三 | 2022～2023年度 |
| 4 盛岡南 | 2024～2025年度 |
| 5 不来方 | 2026～2027年度 |
| 6 盛岡工業 | 2028～2029年度 |
| 7 盛岡商業 | 2030～2031年度 |
| 8 盛岡第一 | 2032～2033年度 |
| 9 盛岡市立 | 2034～2035年度 |
| 10 盛岡北 | 2036～2037年度 |
| 11 盛岡第四 | 2038～2039年度 |
| 12 岩手 | 2040～2041年度 |

(12番の次は1番に戻る)

備考①輪番制は1996(平成8)年度から実施している。

②輪番については、記載順を原則とする。

会計事務に関する細則

第1条(趣旨)

この細則は、岩手県高等学校文化連盟放送専門部規約の附則に基づき、同規約第14条による会計事務の執行について定めるものである。

第2条(会計事務)

会計事務は、専門部長の指導のもと、事務局長が担当する。

- 2 予算書は、事務局長が作成し、理事総会の議を経なければならない。
- 3 収納した現金は、確実な金融機関に預金し、事務局長が保管する。
- 4 事務局長は、予算書および関係書類を照合し、その内容金額を適正時期に支出する。受領した領収証は厳重に保管し、速やかに記帳処理を行う。
- 5 決算書は、会計年度終了後速やかに作成し、監査後、理事総会の承認を得なければならない。

第3条(登録料)

登録料は、主催大会の参加校1校あたり、年額10,000円とする。納期は理事会で定める。

第4条(参加料)

本専門部の主催する事業の参加料、ならびに納期は、理事会で定める。

第5条(旅費)

旅費は、岩手県高等学校文化連盟旅費規程による。

第6条(事業費)

本専門部が主催する事業については、放送専門部一般会計から相当額の事業費を支出し、その都度予算書を作成し、理事会の議を経て執行する。予算書は、事務局長が作成する。

- 2 事業終了後は、速やかに決算書を作成し、監査後、理事会の承認を得なければならない。

附則

- 1 この細則は理事会の議により改定することができる。
- 2 この細則は、平成13年4月1日から施行する。
- 3 この細則は、平成20年4月から施行する。
- 4 この細則は、平成21年4月から施行する。
- 5 この細則は、平成25年4月から施行する。

岩手県高等学校文化連盟旅費規程

(参考資料)

第1条(趣旨)

この規定は岩手県高等学校文化連盟会計規定第2条により、旅費に関し必要な事項を定めるものとする。

第2条(旅費の支給)

岩手県高等学校文化連盟加盟校の職員(以下、「加盟校職員」という。)が岩手県高等学校文化連盟(以下、「県高文連」という。)の主催する事業を遂行するために旅行する場合には、当該加盟校職員に対し、旅費を支給する。

- 2 前項の規定に関わらず、加盟校職員が県高文連の主催する大会(以下、「主催大会」という。)等に、参加生徒を引率する業務を兼ねて従事する場合には、旅費を支給しない。
- 3 加盟校職員以外の者が、県高文連の依頼に応じ、県高文連の主催する事業の遂行を補助するために旅行した場合には、その者に対し旅費を支給する。

第3条(旅費の種類)

旅費の種類は、交通費、現地経費、宿泊料とする。

第4条(交通費)

交通費は、鉄道賃、船賃、航空賃、車賃とし、旅行の経路に応じて、次の各号に定めるところにより実費相当額を支給する。

- (1) 鉄道賃は、加盟校職員が所属する学校(以下、「加盟校」という。)の最寄り駅から用務地の最寄り駅までの運賃実費を支給する。
- (2) 船賃は、水路旅行について、路程に応じ船賃実費を支給する。
- (3) 航空賃は、航空旅行について、路程に応じ支給するものとし、その額は現に支払った額とする。
- (4) 加盟校又は用務地から最寄り駅までの陸路距離が相当程度と認められる場合に限り、陸路旅行について、路程に応じ車賃を支給することができる。その額は岩手県職員の例による。

第5条(現地経費)

現地経費は、旅行中の日数に応じ1日当たりの定額により支給するものとし、その額は次のとおりとする。

- (1) 旅行の用務地が県内である場合には、1,500円を支

給する。

- (2) 旅行の用務地が県外である場合には、甲地方(東京23区、さいたま市、千葉市、横浜市、相模原市、川崎市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、広島市、福岡市)については、2,900円、乙地方(甲地方にあげた以外の地域)については、2,200円を支給する。

2 前項の規定に関わらず、次の各号の一に該当する場合においては、当該各号に規定する額に調整する。

- (1) 行程40キロメートル未満の旅行(※1)であって、用務地が県内のものについては、支給しない。
- (2) 用務が主催大会であって、昼食が支給される場合は、前項の各号に規定する額の2分の1に相当する額。
- (3) 公用車等(※2)のみを利用して旅行する場合は、前項の各号の規定する額の2分の1に相当する額。

第6条(宿泊料)

宿泊料は、旅行中の夜数に応じ1夜当たりの定額により支給するものとし、その額は、甲地方(東京23区、さいたま市、千葉市、横浜市、相模原市、川崎市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、広島市、福岡市)については、10,900円、乙地方(甲地方にあげた以外の地域)については、9,800円とする。

2 前項の規定に関わらず、次の各号の一に該当する場合においては、当該各号に規定する宿泊料を支給する。

- (1) 旅行者が自己所有の空き家、配偶者宅等に宿泊する場合には、宿泊料は支給しない。
- (2) 主催大会に関する業務に従事する場合等で、大会主催者等により宿泊料が定められている場合には、当該実費額を支給する。

3 主催大会等に関する業務に従事する場合で、県高文連会長が必要と認めた者に対しては、宿泊料を支給することができる。

第7条(準用)

この規定に定める事項以外については、岩手県職員の例による。

附則

- 1 この規程は、平成17年4月1日から施行する。
- 2 この規程は、平成18年4月21日から施行する。

3 この規程は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

4 この規程は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

(補足)

※1 1 日の行程(日帰りの場合は往復分)のキロ数

※2 「公用車等」は、私用車の公務上使用承認を受けた場合を含む

岩手県高等学校文化連盟表彰規程(参考資料)

第 1 条(趣旨)

本県高等学校の芸術・文化の活動の振興と水準の向上を図るため、芸術・文化活動における優れた業績と本連盟の発展に尽くした生徒(部を含む)、教職員及び他団体(個人)を表彰する。

第 2 条(推薦の方法)

推薦にあたっては、別紙様式による推薦書に記入し、所定の期日までに提出する。

1 生徒について

(1) 当該学校長が在学生徒及び前年度卒業生より選定して、会長あて推薦する。

(2) 専門部長は、当該専門部より選定して会長あて推薦する。

2 教職員については、支部長、専門部長が選定して会長あて推薦する。

3 団体については、支部長、専門部長等が選定して会長あて推薦する。

第 3 条(推薦の条件)

1 生徒について

(1) 在学中、学業・性行ともに優れ、健全かつ優れた活動実績を有するもの。

(2) 県高等学校総合文化祭として、専門部ごとに表彰する特別賞を受賞したもの。

(3) 全国高等学校総合文化祭、その他の全国規模の大会及びコンクールにおいて優良賞(3 位)以内に入賞した個人及び部(団体)。

(4) 推薦対象の期間は、前年度 9 月 1 日より翌年の 8 月 31 日までの一年間を原則とする。

2 教職員について

多年にわたり芸術・文化の指導に尽くし、本県高

等学校文化連盟の振興に寄与した功績が特に顕著であった教職員であること。

(1) 次に該当する役員が退任する際に表彰する。

ア 県高等学校文化連盟会長

(2) 次に該当する教職員については、退職の際に表彰する。

ア 県高等学校文化連盟副会長、専門部長を経験したもの。

イ 県高等学校文化連盟参与、理事長、事務局長を経験したもの。

ウ 指導者として全国規模の大会及びコンクールに優良賞(3 位)以内に入賞したものを対象とする。

エ 指導者として全国規模の大会及びコンクールに 10 回以上出品・出演させたものを対象とする。

オ 専門部代表理事を 3 年以上経験したもの。

第 4 条(表彰審議委員会)

審議を公平に行うため、表彰審議委員会を設置する。

1 高文連会長は表彰審議委員会を設置する。

2 表彰審議委員は、高文連会長が委嘱する。

3 表彰審議委員会は、必要に応じて会長が招集し、被表彰者を審議選考して、会長に具申する。

第 5 条(表彰)

1 県高等学校総合文化祭総合開会式の際表彰する。

2 表彰状及び記念品を贈る。

第 6 条(専門部の表彰)

1 県高等学校総合文化祭として、専門部ごとの表彰については、高等学校文化連盟会長名で表彰するものとする。

2 表彰の名称等は次の型とする。

(1) 特別賞 最優秀賞 優秀賞 優良賞 入選

(2) 特別賞 金賞 銀賞 銅賞 入選

(3) 1 位 2 位 3 位

付則

1 この規程は、昭和 62 年 9 月 9 日から施行する。

2 この規程は、平成 12 年 4 月 18 日から施行する。

3 この規程は、平成 24 年 4 月 13 日から施行する。

4 この規程は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。